

「ゴミ」処理体験記

あふれるゴミ、リサイクルの壁。 もう、本気でどうにかしなきゃ!

今回から、六名のくまもと女性特派員の皆さんに県内のさまざまな動きをレポートしていただきます。トップバッターは小田切成子さん(熊本市)と佐間野清香さん(阿蘇郡蘇陽町)。熊本県は、全国的にも一足早く「環境基本条例」を制定。環境月間の六月には、県下一斉クリーン作戦も行われました。お二人には、環境問題の一番根っこである「ゴミ」の行方を追っていただきました。まずは、「ゴミ収集の体験から」――



ゴミ収集車体験 / 左が左間野さん、右が小田切さん

●あ//「ゴミ袋が破けちゃった

市東部の住宅街の一角。良い見本のゴミ置き場です。ゴミはきれいにまとめられているので、全く臭くありません。収集車に元気に袋を投げ入れられます。「あまり車の近くに寄ると汗が飛んでくるよ」と作業員さん。作業中に頭から廃油を被ったり、紙オムツの中のウンチを被ってしまうこともあるそうです。廃油は何か吸わせてから、汚物はトイレに流してからゴミ出しするのが最低限のマナーですよ。

次は、悪い見本のゴミ置き場。私たちの肩の高さまで、ゴミが積みま

ます。飛びかうハエ、ブーンと悪臭。今日出されたゴミばかりではなさそう

です。ずっしり重いゴミ袋を持った途端、底が破れて中から腐った夏ミカンがゴロゴロ飛び出してきました。その横には、アーンと炊飯ジャー、灯油缶……。きょうは不燃物回収の日じゃないのに、もう! それでも、それらをどうにか分別して積み終えた車は、東部環境工場へ向かいました。

●膨大な「ゴミ」の量、ものすごい悪臭

超特大ゴミ箱をかき混ぜる大型クレーン。鼻がもげそうな臭いとほこり。

●リサイクルは行き詰まっている

新聞、空缶、透明瓶、黒瓶……。リサイクルセンターでは、ベルトコンベアの上を流れる資源ゴミを十名ほどの人が手作業で分別していました。

「実は、エコロジー商品(再生紙など)は価格が高いため需要が低い」との話から始まりました。それでも資源ゴミとしてどんどん集められる悪循環。「消費者は瓶よりも軽くて安いペットボトルを買う。だから業者も瓶を使わない。でも、ペットボトルは瓶と違い再生できない。牛乳パックのリサイクルも、手作業ではコスト面で不可能」とも。



アキ缶はクラッシュされて一塊ごとにまとめられる

今まで私たちのやってきたリサイクルは何だったのでしょうか? このままでは、結局、自分たちの首を締めるのでは? この悪循環に風穴を開けるため、もう一度「消費とリサイクルの関係」を考え直すべきだと思いました。

●県下あちこちで美化運動の取り組み

六月十三日、さわやかクリーン大作戦の日。結局、当日は雨で中止になりましたが、上江津湖会場はそれぞれに「環境○○」と書かれたユニフォームの家族を始め、大勢の人、人、人。環境美化に対する関心の高さを知りました。六月は、他にも県下あちこちで美化運動の取り組みが行われたそうです。行動することはもちろん、一人一人の環境に対する理解と意識を高めること! 義務感からではなく、身近な美化を地道に続けていくことが大切だと思います。(蘇陽町・佐間野清香)



校区の「足手荒神さん」を清掃する嘉島東小の子どもたち



流れ作業で、資源ゴミを分別。リサイクルセンター

ゴミを減らすために…

県は県内各界64の団体個人からなる「熊本市リサイクル推進県民会議」を設置。これを契機に、県民・事業者・行政が一体となって地域環境の保全を図り、リサイクル型の社会システムをつくるための行動指針となる「熊本市ごみ減量化行動目標」を策定しました。

行動目標の3原則

●ごみ発生のコントロール

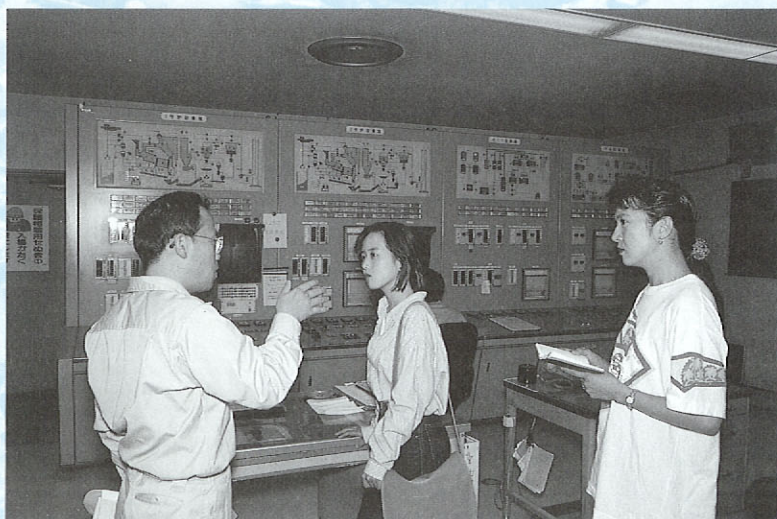
ごみの発生を抑えるために生産や消費のスタイルを改め、ごみそのものを発生させないごみ発生源のコントロールに努める。

●リサイクル活動の推進

不用なものでも、ごみとして処分するのではなく、有価物としてリサイクルを図っていく。そのため消費者、事業者、回収業者、行政が協力して継続的なリサイクル活動を推進する。

●リサイクルシステムの確立

民間によるリサイクル活動が継続的に行われるよう支援する。また、市町村のごみ処理システムを整備し、再生資源回収業者や再生事業者の育成を行う。



ロボット化が進んでいる東部環境工場

そんなゴミ焼却場とは正反対に、管理棟内は焼却温度・換気などほとんどコンピュータで管理されています。来年四月には新工場も完成予定。焼却熱を利用した自家発電で、工場内の電力は、全てまかなわれるそうです。

「分ければ資源、混ぜればゴミ」を痛感しました。この秋、熊本市内で導入される透明ゴミ袋、ゴミを堆肥にするコンポストの助成金制度も良いことだと思えます。でも、物を大切に使い、ゴミを少なくする努力も大切ですよ。明日から私、ひと皮むけた分別ママに変わります。(熊本市・小田切成子)